

京都大学生は、どのようにお子さまと関わっているのか、また生活の基本的な流れは？

京都大学生は、今夏については 11 名採用しています。

その中から 2~5 名/日配置しています。

人数の差があるのは、授業の内容によってです。

遠足の日が多いですね。

以下、大学生の動きを詳説します。

大学生の勤務時間は 9 時から 17 時です。

自転車で来る、バスで来るなど、通勤手段は様々です。

遠足も含めて全ての日程は、最初にフォーレス教室に来てもらいます。

勤務内容としては、9 時から 9 時半までは、お子様の対応をお願いしています。

到着したお子さまの名前を確認し、名札と名札ひもをとってもらい、首に着けてもらいます。

かごを 1 人に 1 個渡し、荷物を全部入れて自分の席に持っていきます。

本日参加するお子さまの名簿がありますので、出席者を確認し、マークしていきます。

残っている名札と、まだ来ていない名簿の名前、そして席についているお子様の人数を確認し、マークミスがないか確認します。

9 時半から授業が始まるので、その準備やサポートを行います。

例えばパソコンを使う授業の場合は、パソコンをセットすることになりますので、そのお手伝いです。

大学生には、講師をしてもらうこともあります。

ちなみに講師は、大学生のほかに、その道の専門家を招聘しています。

臨床美術（臨床美術士）・泡石鹸づくり（アロマセラピスト）・和太鼓（プロ演奏家）・GET体操（体操競技指導者）など。

私でんじろう講師が授業をすることもあります。

11時40分に2時限目が終わりますので、そこから子どもたちと一緒に昼食作りです。

手を洗う、机をアルコールで消毒する、マスクを着けて手袋をして、食材を並べる、切るなどの作業を行います。

準備できたら、子どもたちと昼食を一緒に取ります。

人気のある先生は「一緒に食べよう！」と引っ張りだこです。

昼食の内容は基本的に「おにぎり」です。

北区保健センターさまにも相談し、ご飯を炊いてお店のお総菜を具材にして食べる分には、「料理教室」という扱いになるらしく、検便などの検査や出店の届け出などは不要とのことでした。

2升炊きの炊飯器で、白米を炊きます。

電気の火力が強いのか、底にはうっすらとおこげができます。

それを好むお子さまもいて楽しいです。

具材は近くのスーパーで、その日に買いに行きます。

からあげ・ウインナー・シューマイ・ツナマヨ・塩こんぶなどが定番の具材です。

卵焼きなどの卵だけの料理、誤嚥のあるウズラ卵入りの総菜は使用しません。

から揚げもウインナーも、お手伝いのお子さまがキッチンシザーズでカットし、誤嚥事故の起きにくい大きさにします。

比較的アレルギーのリスクが多い、魚卵・そば・ピーナッツの含まれる料理は選びません。

※卵は、から揚げやフライの衣に含まれますので、ご注意ください

希望者には、レトルトのカレーも召し上がっていただけます。

遠足以外すべての日程でカレーが可能です。

銘柄は「ハウス カリー厨房 すりおろし野菜のビーフカレー 甘口」です。

お子さまにもものすごく好評で、お代替りの人多しです。

おにぎりの作り方は、プラスチックのお皿にラップを敷き、そこに自分の食べられる量のごはんを自分で平べったくよそいます。

そしておかずコーナーに赴き、自分の好きな具材を載せます。

これがワクワクの時間です。

そして自分がラップで包みこみ、丸いおにぎりができます。

欲張りの方は、具材が多すぎておにぎりに丸められないケースもあり、まわりで笑いが起きます。

このフローで、最初から最後まで一度も直接具材に触れることなく、ラップおにぎりの完成です。

お昼休みは子どもの交流タイムであり、楽しい娯楽の時間でもあります。

プロジェクトでは、お子さまのリクエストで「トムとジェリー」などの、楽しいアニメを上演します。

不思議というか、トムジェリーは1年生から6年生まで、全部楽しめますね。

と、ご覧の通り炭水化物とタンパク質・脂質は摂取できますが、野菜は少ないです。

鮮度と管理がシビアな生野菜は、洗う・盛り付けるなどの工程で、少なからず手指の接触が想定され、食中毒のリスクが伴いますので提供しません。ご了承ください。

どうしてもご心配なご家庭は、野菜だけ持ってきていただくことも可能です。

個人的にはそもそも親御さんの負担を減らすために昼食提供を無料で始めたのに、結局お手間をかけてしまうという残念な思いがありますので、どうしてもという場合のみ、ご家庭でご判断ください。

昼食終了後には、いったん休憩を取ってもらうため、大学生には別室に引き上げてもらい、約60分間の休憩を取ってもらいます。子どもたちの対応は、大学生にとって体力のほか緊張と責任があり、まとまった休憩時間は必要です。

そうして午後の授業が13時からスタートします。

午後の授業終了は15時20分です。

工作などでうまく進まず、時間が押すこともあります。

習い事に向かうために、途中で退出されるお子さまもあります。
遅刻・中抜け・早退など、何でも OK です。
大切な習い事などがありましたら、そちらを優先してください。

4 時限目が終了したら、帰宅までは自由時間です。
パソコンを使う、プロジェクトの映像を見る、宿題をするなど、お
子さまの自由な選択でお過ごしください。
大学生はそのサポートを行います。

最初に大学生の勤務時間を 9～17 時と記載しましたが、全ての片
づけが終わり、お子様が帰宅されるのを待つだけの状況になれば、
早めに帰ってもらうことがあります。

授業の内容は、大学生と打ち合わせを行って決めていきます。
素晴らしい人材ばかりですので、その得意とするものを授業の素材
にしてもらいます。
今回は防災についての工作・バドミントン・プログラミングなどの
授業があります。

京都大学生と子どもたちとは、一日を通じて一緒に生活をしていく
中で、自然に交流していきます。
勉強の仕方を相談するお子さま、昆虫の話で熱心に討論するお子さ
ま、足にまとわりついて持ち上げてもらってキャッキヤする子さま
など、さまざまです。

そんな中、スクールでの生活が好きになり、毎年のように通ってく

れるお子さまもおられます。

住んでいる地域、学校など、様々なお子さまが集まっていますが、「ここでしか会えない」仲間ができます。

自分の最終日には、「次はウインタースクールで絶対会おうな」と友達と再会を約束する姿が見られ、特別な友達ができただけの喜びにあふれます。

次のスクールの申込みが始まったときに、「●●ちゃんはウインターに参加されますか？」と問い合わせが来ることもあり、こちらで聞いてあげて「●日に来るって言っていましたよ」と伝えてあげることもあります。

運営としても、そんな関係づくりが楽しくて仕方ありません。

そしてお子さまの中には「僕（私）、大学生になったらアルバイトでここに帰ってくるから！」と力強く宣言する方があり、親御さんの目にうっすらと涙が見えることも・・・

そんなスクールの生活、この夏楽しんでみませんか？